WEEKLY REPORT

行事として第１回目に行われた国際ヨットレースです。また、その優勝杯の名、その成立は近代オリンピックより45年、サッカーのワールドカップより79年、全英オープンゴルフよりも9年早く、継続して使用されている世界最古のスポーツトロフィーとして広く一般に認知されている競技です。
名称の由来は最初の優勝艇の『アメリカ号』の名を冠した『**アメリカ号のカップ**』であり、決して『アメリカ合衆国のカップ』という意味ではないのです。しかし、その後132年に亘ってアメリカ合衆国のヨットクラブがカップを防衛してきたため、事実上『アメリカ合衆国のカップ』と同じ定義で称されていましたが。

1983年の第25回大会においてNYYC所属の「リバティー」号がオーストラリアから出場した「オーストラリアII」号に敗れ、アメリカズ・カップは初めてアメリカ国外へ渡ることとなりました。

その後は、アメリカに一度戻り、ニュージーランドをへてヨーロッパへとそしてまた現在はアメリカへ戻っています。

日本からはこれまで、1992年・1995年・2000年の3回に渡り「ニッポン・チャレンジ」としてアメリカズ・カップに挑んだのですが、いずれもルイ・ヴィトンカップの準決勝にて敗退（3回とも4位）して今回、４回目も大苦戦しています。（現在５位です。）
なんせ、このルイ・ヴィトンカップで優勝しないと、本線のアメリカズ・カップには出場出来ませんので。このチャレンジに日本艇は約10億円を掛けて挑戦しています。
しかし、ヨット乗りって馬鹿ですね･･･ただの名誉だけの為に、たとえ優勝しても１円も賞金はないのですから。

さて話を私事に戻しまして、ヨットの中でもクルーザー（外洋帆走艇）の魅了に騙され、大学卒業後、ヤマハ発動機に入社、舟艇営業部に配属されヤマハのモーターボートやヨットの営業をしながら、国際レースにも出場しハワイで行われていたケンウッド・カップの出場を期にヤマハを退職したのですが、残念ながら本戦前の練習中に以前からの持病で有った右肩脱臼のオペの為、選手生命に幕を引きました。（今は亡き大横綱「千代の富士」横綱と同じ怪我です。）

その後、独立し、「何時かは、自分の船を持ちたい。」その希望が叶った矢先、3.11東日本大震災の、大津波の影響で愛艇を失いましたが、再度次の艇を購入するチャンスがあり、現在銚子マリーナにて31.2フィート約9.3メートの船で、ヨットライフを楽しんでおります。（いずれも中古艇ですが。）

本年は、マリーナ主催の3.11からの復興ポイントレースに出場し、10レース中８レースに出場、総合３位にてシーズンを終えました。

まだまだ、ヨットの魅力についてお話しさせて頂きたいのですが、時間も限られておりますので、この辺で終了させて頂きます。
次は、冬本番です、これからはスキーシーズン、ゲレンデに行って来ます。

本日はご清聴ありがとうございました。

＜ニコニコ委員会：吉田俊一副委員長＞

■高橋清会員：クリスマス会のおひねりです。

■森谷充伯会長：半年間ありがとうございます、
後半もよろしくお願い申し上げます。

社会奉仕基金　2,110円　　《会報編集委員》沖　昌彦・柳　孝実・織田　証

2016－2017年度

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ

人類に
奉仕する
ロータリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから
１・真実かどうか
２・みんなに公平か
３・好意と友情を深めるか
４・みんなのためになるかどうか

第2136回 例会 2016年12月27日（火）

■国際ロータリー会長　ジョン F. ジャーム　■ 例 会 日 - 毎週火曜日12：30より（第1例会18：30）
■第2790地区ガバナー　青木　貞雄　■ 例 会 場 - 松戸市根木内117-1「一幸・松戸根木内店」
■ 第 12 分 区 ガ バ ナ ー 補 佐　小 倉 純 夫　■ 事 務 所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13　ｻﾝﾗｲｽﾞﾊｲﾂ101
■松戸北ロータリークラブ会長　森谷　充伯　■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
■松戸北ロータリークラブ幹事　渕上　啓太　■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜第２１３６回：例会プログラム＞

12:30　点鐘　森谷充伯会長
　ロータリーソング斉唱
　【♪我らの生業】
12:33　お客様紹介　平田洋一会長エレクト
12:35　会食
13:00　例会再開
　会長挨拶・報告　森谷充伯会長
　幹事報告　渕上啓太幹事
13:05　会員卓話　「私とヨット」　長島正巳会員
13:25【委員会報告】
　■社会奉仕委員会　社会奉仕基金発表　髙崎卓哉委員長
　■ニコニコ委員会　本日のニコニコ発表　吉田俊一副委員長
13:30　点鐘　森谷充伯会長

＜会長挨拶・報告：森谷充伯会長＞

皆さん　こんにちは

先週の１２月２０日は、我がクラブのクリスマス家族例会が日本閣にて開催されました。

私が入会した当時のクリスマス例会を思い出しました。先輩会員が、かくし芸を披露したり暖かな企画が盛りだくさんだったと記憶しています。また、例会出席者の規模も現在の３倍位でした。当時は、私も家内と２人の子供の計４人で参加していましたが時の流れで、子供たちの受験等々を優先したり他の行事を優先したり家族の成長過程では仕方なく思われます。その様な状況でも、２名の入会候補者の参加は大変喜ばしい事でした。”親睦委員会及び増強委員会の皆様に感謝申し上げます”

さて、２０１６－１７年度も半年が終了いたします。

▼７月には、研修リーダ主催で「関ＰＧ」の卓話を賜ました。また、青木Ｇの公式訪問を松戸クラブと合同で開催しました。
▼８月には、会員増強のＷＧが発足し具体的な増強の為の実行計画が立案され活動が開始されました。
▼９月には、成田国際文化会館にて地区大会が開催され帰路に車中ＦＳＭが開催されました。
▼１０月には、野澤会員が仲間となりました。また、なかよし学級の生徒を迎えて「芋掘大会」と分区の情報研修会が開催されました。
▼１１月には、インターアクト研修の参加予定から「台北東海ＲＣ」へのメークアップを実施いたしました。
▼当月は、クラブ協議会形式の会員増強報告とクラブ年次総会及びクリスマス移動例会が開催されました。

この半年間は限られたスケジュールの中で、各委員長の公式卓話及び会員卓話と外部卓話を多数賜りました。この事により、快く納得いただき各寄付を賜りました事や計画を上回るニコニコを賜っております事をご報告申し上ると共に、メンバー個々の絶大なる御協力に感謝申し上げます。

WEEKLY REPORT

＜幹事報告：渕上啓太幹事＞

■　松戸西ＲＣ　１月３日（火）規定により休会
　　１月17日（火）移動例会（夜間）に変更　点鐘18：30　場所：松葉鮨
　　１月31日（火）規定により休会
■　我孫子ＲＣ　12月27日（火）定款第６条第１節により休会
　　１月３日（火）定款第６条第１節により休会
　　１月10日（火）新年例会の為夜間例会に変更　鈴木屋本店　18：30点鐘
■　12月ロータリーレート　　1ドル＝１１６円
■　日本ロータリー学友会より。12月24日の朝日新聞朝刊に、全紙カラーの広告記事が掲載されます。是非ご拝読ください。公共イメージ向上企画協力金に賛同頂き厚く御礼申し上げます。

＜会員卓話：長島正巳会員＞

私とヨット

本日は、卓話のチャンスを頂き有難うございました。
今回は、あまりメジャーなスポーツでは無い話になりますが、私の趣味に付いてお話させて頂きたいと思います。
　皆様は、年に何度「海」に行かれますか？一度か二度？もしくはあまり行かない？殆どの方は、そんな感じだと思います。増してはその海に浮かんでいる船には「船酔いするから乗らない！」と言われる方も居られるでしょう。
　そうなんです。「船酔いは辛い！」船酔いしない人はいません。あれは、慣れなんです。
殆どの人は次第に船の揺れに慣れてきて治りますが、重症の人は死ぬほど辛い思いもします。じっとマグロの様に横たわって耐えるしかないです。
　私がそんな辛い船酔いをするようなヨットと出会ったのは、高校３年生の夏でした。高校の部活も引退し、受験の準備をしていたのですが、たまたま父の友達に誘われ、「神奈川県三浦半島の油壷にヨットが有るので乗りに来なさい」と誘われ、何となく息抜きも必要かなと思ったのか？遊びの誘惑に負けて行ってしまったのが運の尽き。天気も良く、程よい風で爽快に走るヨットの魅力に取り付かれてしまいました。
マリーナから出航すると、セールを張り、エンジンを切る、風がセールにあたり、船が傾くと耳に入って来る音は、風の音と船が波を切る音しか聞こえて来ません。実に不思議な感覚です。そして帆（セール）だけで、風上に進んで行ける、素人には理解出来ない事です。実に自然の素晴らしさに魅了される瞬間でした。
（あの日が無ければヨットなんかやってなかったかも知れません？）
　その後、大学に入学し中学高校と６年間バスケットボールをやっていましたが、自分の身長では大学ではなかなか通用しなだろうし（実は国体選抜までいきましたが）、何か他の運動部に入部しようと考えていました･･･
目の前に「来たれヨット部」の看板が目に入り迷わず入部･･･そこまでは計画どうり？
　しかしさすがに、大学の体育会系は辛い！わが母校のヨット部は弱小でしたので、艇（ヨット）の数が少なく１・２年生は殆ど乗船できませんでした。そこで考えたのは大型のヨット（外洋帆走が出来る船）のクルーになって乗船する事でした。
そのおかげで、「湘南乞食・浜乞食」とまで親に言われました。実に家に帰るのは年間90日足らず、家に米を貰いに行ったり、食料をあさりに帰る時だけでした。約270日は合宿所か、バイトで乗船していた船で過ごしていたからです。
　ちょっと外れますが、つい最近福岡で行われた「ルイ・ビィトンカップ」TVをご覧になった方もおられると事と思います。あのレースは「ルイ・ヴィトンカップ」と言って「アメリカズ・カップ」の予選ですので本戦の事をお話ししましょう。
　アメリカズ・カップの歴史は古く1851年イギリス・ロンドンで開催された第一回万国博覧会の記念